

平成26年度遠野市消防表彰

消防活動の功績を表彰

市消防表彰式は1月11日、市民センター大ホールで開催され、消防活動の功労や功績のあった個人と団体に表彰状や感謝状が贈られました。受賞した皆さんを紹介しします。[敬称略]

※勤続10年以下の表彰は省略させていただきます

◎市長表彰

■特別功労章 松田克之(団本部分団長)

■功労章 菊池美津彦(1分団本部)、松田順一(1分団5部)、宇夫方悟(2分団3部)、菊池勝義(3分団本部)、菊池洋人(3分団1部)、佐藤清正(3分団3部)、佐々木弘一(4分団3部)、中居克也(5分団4部)、佐藤竹彦(7分団2部)、菊池功幸(9分団1部)、多田清美(10分団2部)、菊池義孝(11分団3部)

■勤続章(勤続20年) 菊池剛(2分団2部)、佐藤学(3分団2部)、小関恵司(同)、菊池秀樹(4分団2部)、菊池一彦(同)、鈴木明男(4分団4部)、及川保(4分団5部)、立花賢一(同)、小向勝(同)、菊池数馬(5分団1部)、菊池達紀(5分団4部)、菊池忠男(同)、菊池友一(7分団5部)、伊藤薫(9分団5部)、千葉直人(10分団1部)、中村拓也(同)、佐々木雄二(同)、多田茂(10分団6部)

■功績章(勤続15年) 浅沼亜希子(団本部)、松田良友(1分団2部)、奥寺紀男(1分団4部)、鈴木誠(2分団1部)、山田好弘(2分団2部)、鈴木貴幸(2分団4部)、多田誠幸(同)、菊池浩幸(同)、奥友勝典(3分団2部)、小松利幸(4分団1部)、菊池明(4分団

2部)、伊藤誠輝(5分団3部)、星野浩衛(5分団5部)、佐々木充(7分団1部)、堀切裕司(同)、菊池正和(7分団3部)、桑畑学(8分団2部)、佐々木利勝(8分団3部)、堀切義友(同)、佐々木徳彦(同)、菊池栄紀(8分団4部)、荻野秀規(8分団5部)、菅原英明(9分団6部)、多田伸治(10分団1部)、多田育可(10分団2部)、福地幸博(10分団5部)、福地孝幸(同)、佐々木義孝(11分団1部)、多田雅彦(同)、菊池洋勝(同)、多田友彦(11分団4部)、廣川ゆり(同)、須田智子(同)

■婦人消防協力隊30年勤続 新田恵子(4分隊1部)、畑山精子(7分隊本部)、佐々木幸子(7分隊4部)、佐々木民子(同)、宮田典子(同)、深井トミ子(8分隊4部)

■同20年勤続 丑館順子(7分隊2部)、佐々木文子(同)、伊藤裕子(9分隊1部)、佐藤由美子(10分隊1部)、多田キヨ(10分隊2部)、菊池和子(同)、齋藤礼子(10分隊3部)、佐々木真紀子(10分隊4部)、佐々木とき子(同)、佐々木貞子(同)、佐々木節子(同)、佐々木美智子(同)、佐々木礼子(同)

◎県消防協会遠野釜石地区支部長表彰

■40年勤続証 菊池岩男(団本部副団長)、菊池久人(11分団本部)



市長から表賞状を受け取る団員

■25年勤続証 表彰を受けた12人は市長表彰功労章に同じ。

■15年勤続証 表彰を受けた33人は市長表彰功績章に同じ。

■精練賞特別表彰(消防操法競技会県大会出場)▷9分団2部 佐藤隆司、菅原直、山蔭洋輝、菊池淳哉、浅沼高德、菊池伸 ▷5分団2部 菊池博、菊池晃一、菊池利夫、糠森邦寛、菊池拓也

◎市消防団長表彰

■施設管理優良部 7分団1部、7分団5部、9分団3部、10分団2部

■感謝状(内助功労者) 菊池知子(菊池忠信3分団3部班長夫人)、北湯口ヤス子(北湯口清隆4分団2部班長夫人)、阿部和子(阿部安司4分団2部班長夫人)、菊池友子(菊池清彦7分団5部部長夫人)、朝橋厚子(朝橋正8分団3部部長夫人)

■感謝状(役員功労) 仁田章子(4分隊本部副隊長)、沖館清子(6分隊本部隊長)、畑山精子(7分隊本部分隊長)、千葉良子(7分隊4部部長)、阿部千晴(9分隊2部部長)、多田悦子(10分隊本部分隊長)、千葉道子(10分隊6部部長)、菊池由美子(11分隊3部部長)



団員らは息の合った分列→行進で心意気を示しました

←市民センターでは表彰式などが行なわれました



火消しの心意気を堂々と遠野市消防団の出初式開催

平成27年市消防出初式は1月11日、遠野小学校校庭などで開催されました。団員や婦人消防協力隊員ら768人と消防車両63台が集結。参加者は、地域一丸で防災活動にあたることを誓いました。

井手純団長は「昨年は全国的に自然災害が多発した1年だった。この教訓を忘れず、より一層防災活動に取り組み、市民の安心安全を守っていき

たい」と力強く訓示。遠野小学校校庭に集結した団員らは観閲を受けた後、消防ラッパ隊を先頭に駅前周辺を分列行進。統率感ある動きと、堂々とした行進で火消しの心意気を示しました。市民センター大ホールでは、式典と表彰式を開催。表彰式では、活動に尽力した4団体299人に表彰状や感謝状が贈られました。

※詳細は次ページ

今までありがとう宮守駅 改修を前にお別れ会を開催

宮守町地域づくり連絡協議会菅原伴耕会長は1月17日、老朽化に伴う解体・建て替え工事が行われる宮守駅で、同駅舎の感謝とお別れ会を開きました。住民ら100人は、思い出を語り合い、慣れ親しんだ駅舎に感謝しました。

した。夏には地域住民が駅前にごやか祭りを毎年開催するなど、交流拠点としても親しまれました。この日は、元駅員や切符販売員らが思い出を披露。駅前に住む佐藤一紀さんは「寂しいが、たくさんさんの思い出をくれた駅舎に感謝。新駅舎になっても、イベントなどを開催して地域づくりに活用していきたい」と決意を新たにしました。



新駅舎は現在の約半分の大きさにコンパクト化するほか、イベント用のテラスを設置。本年3月以降に供用開始される予定です

唯是震一さんが逝去

遠野市名誉市民 箏曲家として芸術振興に貢献

名誉市民で箏曲家の唯是震一さんが1月5日、東京都内の病院でお亡くなりになりました。91歳でした。葬儀・告別式は1月13日、東京都内の葬儀場で行われ、市を代表して本田市長と新田市長が弔辞を捧げ、哀悼の意を表しました。

祖父が本市出身であることから、遠野を第二のふるさととして愛し、コンサートを開催するなどして遠野の芸術振興に貢献。平成22年6月に市民センターで開催された「唯是震一ファミリー箏コンサート」では、唯是さんのご家族や市内の邦楽愛好家の皆さんと一緒に演奏を披露していただきました。

北海道出身の唯是さんは、家族の影響で幼い頃から邦楽に親しみ、東京芸術大学を卒業後、本格的に箏曲家として活動を開始。昭和45年からは毎年リサイタルを開催する一方、数多くの国際的なイベントでも演奏を披露してきました。



写真/平成22年に遠野で開催されたコンサートの時のもの。邦楽のすばらしさを伝えていただきました

消防団の活動が評価され、消防車両を頂きました！

昨年12月25日、(公財)日本消防協会から市消防団に防災活動車両1台(写真)が交付されました。消防団による東日本大震災時の後方支援活動や、日ごろの防災活動が高

く評価され、県消防協会の推薦を経て交付されました。この車両は、防災センターに配置し、災害時などに消防団本部の指揮活動車両として活用します。

